

令和6年度 第1回 学校運営協議会議事録

1 日 時 令和6年5月21日（火）午前10時から正午まで

2 場 所 静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校
(松崎高等学校応接室)

3 参加者

○学校運営協議会委員

氏 名	所属等
宇野 満里加	林業（本日欠席）
菜野 倫克	ふじのくに防災士
芹沢 安久	カネサ鯉節商店代表
津田 亜由美	伊豆松崎分校PTA会長
土屋 栄	株式会社下田OAシステム（本日欠席）【代理：寺川 麻由季】

○学校教職員

職 名	氏 名	所属等
校 長	松本 仁美	
教 頭	所 宗子	
部主事	高橋 康子	
教 諭	齋藤 麻実	教務主任
養護教諭	鈴木 三恵	※コンプライアンス委員会のみ

4 内 容

- (1) 学校概要説明
- (2) 校内見学・授業参観
- (3) 学校運営協議会委員の任命
- (4) 学校運営協議会の目的について
- (5) 学校経営計画の説明と承認
- (6) 教育長メッセージ
- (7) コンプライアンス委員会
 - ・教職員の不祥事について
 - ・不祥事根絶の取組計画

5 議事録

- (1) 学校概要説明
知的障害、知的障害を伴う肢体不自由の生徒が通う特別支援学校。生徒

17 人を教職員全体で育てる意識で教育活動を行っている。松崎町にあるが、生徒の大半は下田市在住である。

(2) 学校見学・授業参観「数学」

(3) 学校運営協議会委員の任命

(4) 学校運営協議会の目的について説明（校長）※冊子参照

- ・学校運営協議会を設定した学校＝コミュニティースクール

- ・静岡県の特例支援学校は全校に設置している。

- ・「学校運営協議会の主な 3 つの柱」について

- ・「学校評議員から学校運営協議会への発展」

委嘱から任命へ、意見を述べるができる。協議委員任命と守秘義務について

(5) 学校経営計画の説明と承認

- ・地域で学び、地域に貢献できる生徒を育てる。

- ・今年度の取組について

地域の特色（桜葉、桑葉）と食を絡めた指導の実施

I C T の活用の推進

下田市へのアピール方法

【感想等】

委員：肢体不自由の生徒がいたが、防災についての取組はどうか？

委員：避難訓練はどれくらい計画しているのか？

教頭：毎月 1 回程度、いろいろな想定をして訓練を行っている。松崎高校と合同で行う訓練もあり、避難ルートや導線を確認しながら実施している。

教頭：未告知でも生徒は放送をよく聞いて動いている。繰り返しの大切さを感じている。

校長：どのように対応するか、浸水地域の本校も津波の心配がある伊豆下田分校も常に考えている。

校長：東日本大震災時には、毎月訓練していたことで生徒は机にもぐることができていた。一方で、避難経路が通れない状況等でルートが変わったら？応用はきくのか？ということも含め、様々な想定での訓練を行うことも大切。

委員：松崎高校のグラウンドは海拔 8 M でギリギリ浸かると想定されている。地域をよく知る町民との情報交換が大事になる。

委員：西伊豆田子地区は、ほとんどが危険地域。

幼児や障害のある人が短時間で逃げるのは難しい。

優先順位を決めて、どこに逃げるのかを考えなければいけない。先生方の不安感を少しでも減らせるとよい。

委員：大雨のときに那賀川の水位が心配になる。

委員：溢れることはないと思うが、想定外のことはあると思う。津波は川を遡上してくるので注意が必要。映画「生きる」を見た。大川小学校で

は校庭に避難し、先生がそこから避難するという決断ができなかったことが問題だと思った。早い決断をすることや様々な想定での訓練をしておくことが重要だと思う。

校長：地域の様子を知っていることがとても大事。

委員：即座の判断もとても難しいことだと思う。

校長：大雨等の心配がある時は安全第一で、欠席や休校の措置もありえる。

委員：昨年、火事があり登校中の路線バスが2時間くらい止まってしまったことがあった。子供はキッズケータイを持っていたが連絡してくることがなかったので心配だった。先日は、登校中の路線バス内で起きた緊急事態にも、落ち着いて対応でき帰宅後に教えてくれた。緊急時の連絡手段があるとよいと思う。

委員：松崎エリアのことを知らないが、山海川が近いので、危険予測と対応の想定をしておくといふ。

委員：以前下田にいる時に大雨で川が増水して立ち往生したことがあった。浄水所に泊まった。毛布はあったが、水は出ない状況。あと数十センチで浸水する危険があった。連絡の取りようがない場合は、地域の連携が必要。公共機関の人や地域の人との連絡網があると、お互いの安否確認ができて安心。

教頭：今年度の取組として、地域との防災学習を計画している。様々な想定から実践的な学習になるよう地域と連携し考えたい。

(6) 教育長メッセージ（校長）

- ・チラシ「子供たちのために、一緒に取り組みを」配付
- ・学校が背負っているものが多すぎる。家庭力や地域力が低下し学校がやらざるを得なくなっている。

・本校での取り組み

授業時数の多い分は減らしている。（9月は2日始まりに設定した）伊豆松崎分校は検討が必用。

学校行事・・・小学部の運動会をやめ、平日に体育の授業参観として行うことにした。

P T A有志に運動会の駐車場誘導や片付けを依頼した。

紙媒体を減らした。会議はパソコンを使用し保護者お知らせはCOCOOで配信。紙の節約、印刷等の時間の削減につながっている。

教員の勤務時間、朝早くから夜遅くまでいるのが当たり前だと思っている保護者もいる。教員の勤務時間は7時間45分です。少しずつ、保護者に理解してもらえると教員の働き方が変わっていく。知ってもらうことが大切。

(7) コンプライアンス委員会

<昨今の教職員の不祥事について（校長）>

- ・新聞やマスコミで公表されているとおり教員による窃盗、体罰、わいせつ等

不祥事は多い。

- ・教職員同士プライベート全てを知ることにはできないが、風通しのよい職場にしていきたいと思っている。
- ・人数が少なくても一人一人違うのですべて理解することは難しい。
- ・静岡県は全国に比べメンタル不調で特休をとる教職員が飛びぬけて多い。
- ・不祥事根絶に向け、企業等での取り組みがあればぜひ次回の協議会で教えてほしい。（宿題！）
- ・本校では 15 分の休憩時間に散歩する人もいる。気分をリフレッシュして仕事にむかうよう伝えている。ぜひ本校にも来てほしい。
- ・経験年数の少ない教員が 6 割いる。ギャップ、働き方、マナー、感覚が違うのでお互い気を遣う面もある。会社や地域でうまく関わる人間関係作りについて取り組んでいることがあれば教えてほしい。（宿題！）

<本校の不祥事根絶取組計画について（教頭）>

- ・チェックリストを使用したり、少人数でグルーピングし話し合いをしたりして進める計画を立てた。少ない人数でも、風通しをよくし、困っていたら声を出す、気が付いたら声を掛ける関係でいたい。

【まとめ】（校長）

気付いたことがあれば電話でもかまわないのでいろいろなご意見をいただきたい。学校もいつでも参観に来てください。本校にもぜひいらしてください！